



opinion

地域貢献・社会貢献活動を通じて赤帽をPR

街中でよく目にする赤帽マークの貨物軽自動車運送業者で組織化されている当組合は、組合員数 51 名、車両総数 54 台で引越しや定期的な配送を主に、様々な輸送業務を請け負っており、全国 47 都道府県の組合の赤帽ネットワークを活かした仕事を行っています。

しかしながら、近年、組合員の高齢化に伴う脱退・廃業も増えており、歯止めがかからない状況です。そのため、仕事があっても配車ができず受注ができなくなる場合も出ています。組合では、顧客サービスの維持のために、各種の集客イベントへの参加やチラシ等によるPR活動を積極的に展開し、組合への新規加入者拡大に努めています。

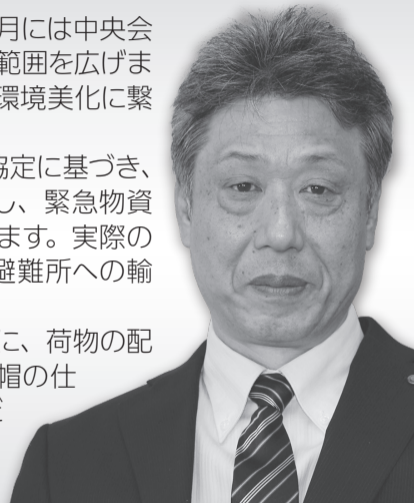
最近では、その一環として、地域貢献・社会貢献活動も積極的に行っており、マスコミ等に取り上げられることで、赤帽の認知度も高まってきました。

地域貢献活動では、昨年2月から組合事務所周辺とアルプス通

りで定期的に環境美化のためのゴミ拾いを始め、11 月には中央会等の職員と協力して中小企業会館周辺までゴミ拾いの範囲を広げました。この活動はこれからも継続して実施し、地域の環境美化に繋がっていきたいと考えています。

社会貢献活動では、山梨県と甲府市と結んだ災害協定に基づき、県や市の実施する防災訓練に組合員と赤帽車が参加し、緊急物資の受け入れや輸送調整等を想定とした訓練を行っています。実際の被災時には、組合として備蓄物資や救援物資等の各避難所への輸送を協力することになっています。

組合では、「荷主さんの心を運ぶ赤帽車」をモットーに、荷物の配送や付帯作業にとどまらず、様々な機会をとらえて赤帽の仕事でPRし、組合員がそれぞれの地域で喜んでいただけるような運送業に一步でも近づきお役に立てるよう、全力で取り組んでいきたいと考えています。



赤帽山梨県軽自動車運送協同組合 理事長 矢ヶ崎 正之 氏